

先日その質素な暮らしぶりから「世界で一番貧しい大統領」とよばれた南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさん(85)が政界引退を発表しました。自分の給与の九割を福祉に寄付、奥様と郊外の家に住み、畑仕事をしながら職務をこなしていたそうです。

ムヒカさんはブラジルで開かれた国際会議でのスピーチで一躍有名になりました。そのスピーチのなかで「人類は消費社会にコントロールされている」「貧乏な人とは少ししか物をもっていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人」など訴え有名になりました。ではその思想がどこから培われてきたのか?ムヒカさんは幼いころ貧困の中で育ちその後極左ゲリラに身を投じ幾度も投獄された経験があります。そしてある取材に「収容されて自由を奪われた間、人間とは、自由とはと考えるようになった。」と答えております。

私はこのムヒカさんの言葉は現代を生きる人間に何か大切なヒントを促しているように思えました。そして普段聞いている浄土真宗の教えと重なる何かを感じ

ました。そしていったん立ち止まり考えてみますと『仏説無量寿経』というお経が同じ内容のことを告げている箇所気づかされました。

そのお言葉とは『金銭や衣食、日常の品々に至るまで、なければならないでまたそれらが欲しいと悩むのである。たまたま一つが得られると他の一つが欠け、これがあればあれないというありさまで、つまりはすべてを取りそろえたいと思う。そうしてやっとこれらのものがみなそろったと思っても、すぐにまた消え失せてしまう。そこで嘆き悲しんでふたたびそれを求めるが、もうその時には得ることができず、ただ思い悩むばかりで身も心も疲れ果て、何をしても安まることがない。いつも憂いに沈んで、このように苦しむのである。』

(浄土三部経・現代語訳) 此のころは「三毒段」といってお釈迦様が人間が苦しむ心の特徴を詳しくお述べになり阿弥陀仏の救いを聞くよう促すところがあります。

「三毒」とは人間の心にある煩惱がもたらす苦しみを三つ(貪欲・瞋恚・愚痴)に分けたもので、このと

ころは「貪欲」について説かれたところです。前述のムヒカさんの「貧乏なひととはいくらあっても満足しない人」という言葉と重なるところがあります。仏教的に言えば「貪欲」が強い人を貧しい人という。と改めて伝えているように思えました。

さて、ムヒカさんは「人類学」という学問からこのようなことを教えてくれていると伺っていますが、2500年ほど前お釈迦様によって説かれた『仏説無量寿経』が教えてくれる「貪欲」の意味は、抑えようと思っても抑えられず次から次へと沸き起こってくる欲望に振り回され苦しんでいる「私」がここにいる。その私をどうしても見捨てることができず自らが最高の悟りを完成し浄土を建立して、浄土ですべての欲望を取り除き真実の心に仕上げてくださいる南無阿弥陀仏という仏様が一人一人に平等に届けられているのだと、お釈迦様の口から説かれた救いでありました。

それを親鸞聖人が浄土真宗と教えてくださいました。その聖人に感謝し報恩講法要を行います。

南無阿弥陀仏

写経と薩摩のかくれ念仏勉強会

日時 令和2年11月19日（木）

13時30分～ 受付

14時～開始 15分ほど『正信偈』写経致します。

場所 タワーホール船堀（江戸川区船堀4-1-1 301会議室）

参加費 一般500円 妙蓮寺クラブ会員無料

※次回12月17日（木）タワーホール船堀にて開催予定

築地本願寺報恩講法要・法名授与式（帰敬式）

この度のコロナ禍の影響で今年の団体参拝は中止となりましたが、帰敬式は受け付けております。このご縁に是非、本来のありかたである生前法名「釋〇〇」をお取りいただくことをお勧めいたします。

日時 令和2年11月13日（金） 14時集合

集合場所 築地本願寺正面入り口

東京都中央区築地3-15-1

お布施 成人15000円 未成年10000円

※ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

電話 03-6231-4733 携帯 090-6340-9040

妙蓮寺報恩講法要

宗祖報恩講は寺院にとって最も大切な行事であり、何とかご縁の皆様と法要を行いたいところでしたが現状を検討した結果、本年度は妙蓮寺本堂にて寺族のみで法要をさせていただくことになりました。

尚、この機会にYouTubeでのライブ配信を考えております。準備が整いましたら改めてご案内いたします。何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

合掌 釋榮玄

日時 令和2年12月6日（日）

14時～勤行 『正信偈・和讃』

14時30分頃～ 法話 妙蓮寺住職

9月・10月の妙蓮寺



お彼岸・ベトナムの方々との交流会



萩。予想以上に大きくなりました。